

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約3.4億円
		特定交通安全施設等整備事業 (一)才広畑線	姫路市広畑区 早瀬町～吾妻町	うち用地補償費	-
所在地				着工予定年度	完成予定年度
姫路市広畑区早瀬町～吾妻町				平成17年度	平成19年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・ ”つくる” から ”つかう” の観点から歩行者、自転車交通量の多い当該道路空間を見直し、既設歩道を拡幅するとともに、波打ち歩道の段差解消を図ることで、交通安全対策を推進する。	自歩道整備（歩道のリニューアル・両側） L = 1, 3 2 0 m W = 3 . 0 m (4 . 0) m 現況計画 W = 2 . 0 m (2 . 5) m (負担割合 国1/2 県1/2)

評価視点	
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車11,299台/日、歩行者742人/日、自転車363台/日) ・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(15件)が発生している。 ・死傷事故率(128人/億台km) ・市街化区域内で周辺には、山陽電鉄広畑駅(約400m)、新日鉄広畑工場(約300m)、広畑スポーツセンター(約200m)、姫路市西保健センター(約50m)があり、広畑第二小学校、広畑中学校の通学路でもあることから多様な利用状況にある。 ・あんしん歩行エリア(姫路市広畑区小浜・高浜地区)内の事業であり、外縁道路に位置づけられている。 ・福祉のまちづくり重点地区(山電広畑駅周辺地区)内の事業であり、整備計画において、歩道の段差解消が提案されている。 ・住民参加による交通安全総点検を実施し、住宅地内であることから車のスピード抑制、歩道拡幅の必要性が提案されている。 ・連続性の確保(前後の整備状況・起点側の県道と久今宿線は整備済み、終点側の国道250号は歩道のリニューアルを整備中) ・波打ち歩道である既設歩道(2.5m)を路肩の一部を活用して歩道の拡幅(4.0m)を行い、合わせてセミフラット型による歩道のバリアフリー化を図る。
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。併わせて高齢者や身体障害者等の移動の円滑化の向上に努める。 ・植栽を新たに新設し、ゆとりと潤いのある美しい環境づくりを目指す。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・「あんしん歩行エリア」「福祉のまちづくり重点地区」に位置づけられ、地元住民からも、車のスピード抑制、歩道の段差解消、拡幅など改善提案がされている。 ・小中学校の通学路に指定され、新日鉄広畑工場への通勤路でもあることから多様な利用状況にあり、朝夕の通勤通学時には、歩行者と自転車利用者が輻輳し、車道へのはみ出しが発生するなど危険な状況にある。